

【耕畜連携】（京都府 中丹地域における稲WCS生産の地域間連携の取組）

【京都府、JA京都】

- 京都府中丹地域（京都府舞鶴市、綾部市、福知山市）では、中山間地域で特に高齢化が進んでおり、農地を荒らさないためにもWCS用稲の作付農家数や面積は増えているが、更なる取組の拡大を図るためには、分散したほ場の団地化、専用収穫機やオペレーターの確保、鳥獣被害対策などの課題解決などが必要。
- このような中、20戸の耕種農家が稲WCSを栽培。収穫・調製作業は、JA京都が補助事業を活用して取得した稲WCSの専用収穫機を使用して、酪農家が行い、酪農家7戸と肉用牛繁殖農家1戸に供給。
- 市内での生産・利用が大半であるが、生産した稲WCSの一部は、市外にも供給するなど、地域間連携の取組も実施。



図1. 地域間連携の取組概要

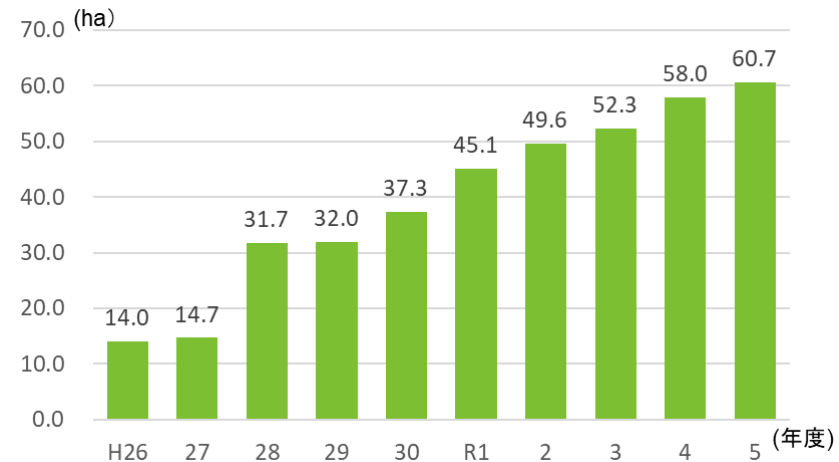


図2. 取組面積の推移



写真. 専用収穫による稲WCSの収穫状況（京都府農林水産技術センター畜産センター提供）